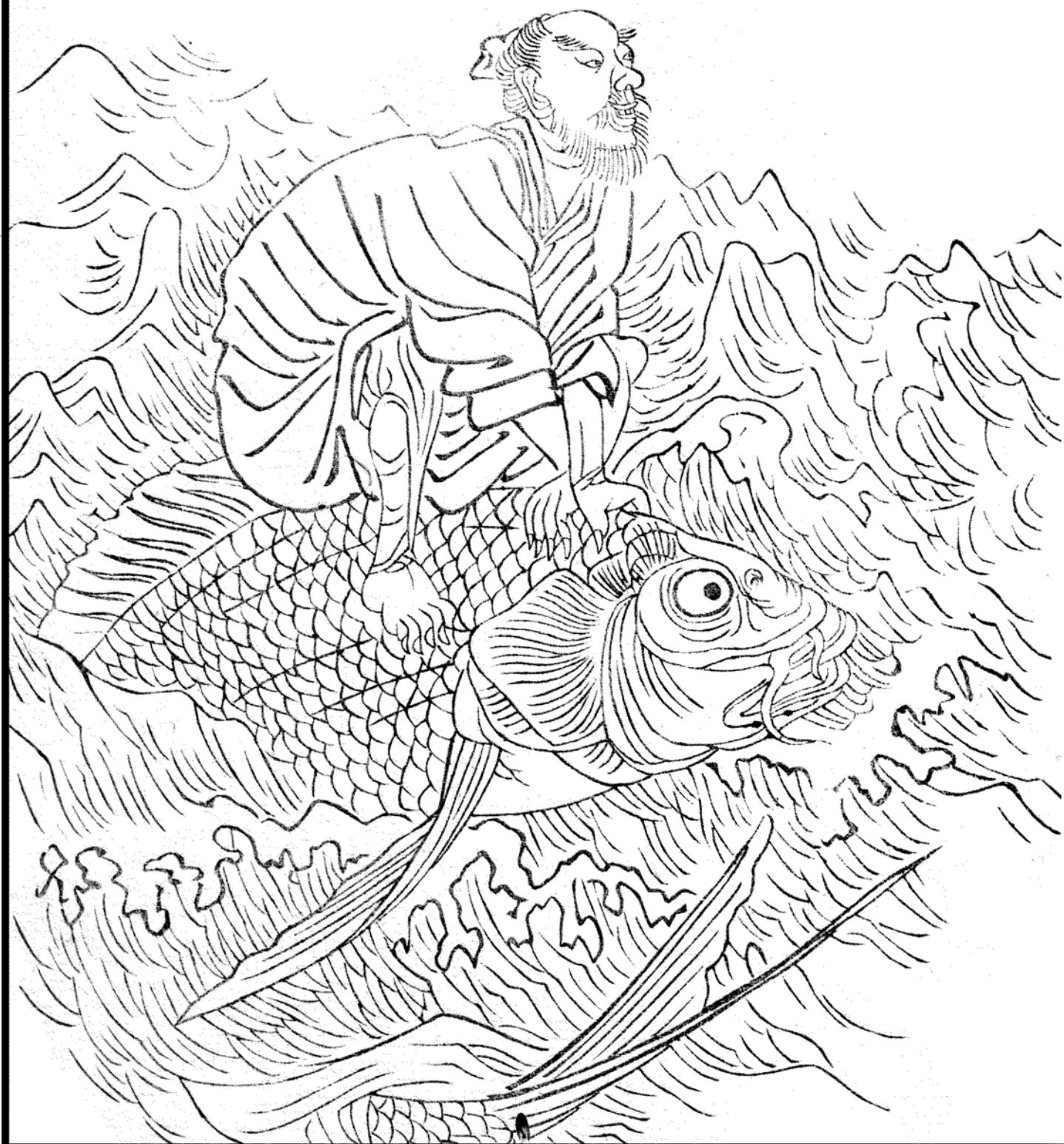


高
琴



名古屋生まれの画僧（絵を描くお坊さん）・月僊が出版した仙人のガイドブック『列仙図賛』から琴高仙人のご紹介です。琴高は古代中国の仙人で、琴の演奏が大変上手だったことからこのように呼ばれました。不思議な方術（わざ）をたくさん用いた仙人でしたが、大きな鯉に乗って移動する姿が有名です。ある日琴高は、龍の子どもを捕まえようと川の中にもぐり、やがて赤い鯉（鯉は龍の子どもだと考えられていました）に乗って登場したというびっくりなエピソードがあります。鯉にまたがって水中から勢いよく飛び出す場面は、古くからいろいろな画家によって描かれました。月僊の描く琴高もその一例ですが、くどいほど細かな線描を用いて、今までに無い独特な姿に仕上げられています。衣服や身体のしわ、一枚一枚描かれた鯉のうろこ、湧き上がる高波など、生々しい月僊画の魅力（りょく）をぬりえを通じて体感（たいかん）してみてください。

作品には次のような漢詩が入っています。

泛々乘鯉
洋々鼓琴
忽来忽去
果向何溘

ふわふわと鯉に乗って浮かび漂い美しく盛大に琴を打ち鳴らす突然姿を見せたかと思うとあっという間に消えてしまった果たして何処の岸に向かうのだろうか



月僊『列仙図賛』天明4年(1784)刊 名古屋市博物館蔵

この作品は、特別展「画僧 月僊」（2018年、名古屋市博物館）で展示されました。月僊について、もっと知りたい方は名古屋市博物館のホームページをご覧ください。

◀ 展覧会の詳細 ▶ <https://www.museum.city.nagoya.jp/exhibition/special/past/tenji181215.html>
 ▶ 展覧会図録 ▶ 『特別展 画僧 月僊』 2,000円 A4判 240頁 (2018)
<https://www.museum.city.nagoya.jp/activity/publish/index.html>